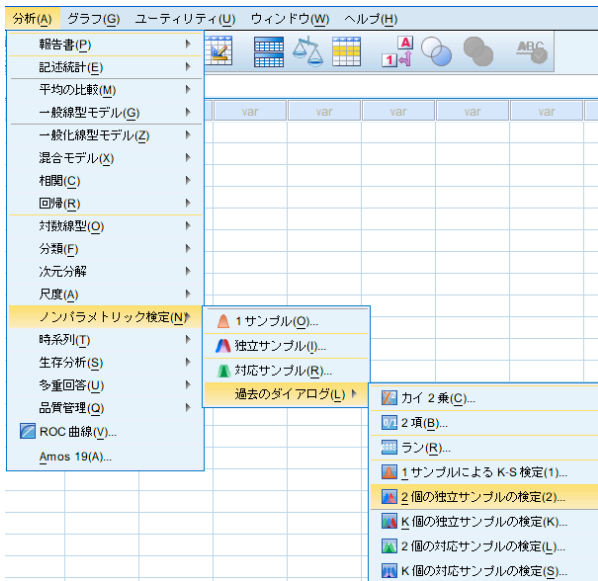
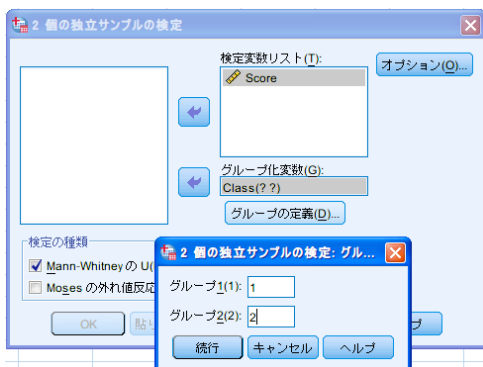


## ノンパラメトリック検定

### 1) 対応のない2群の検定・・・マン・ホイットニーの検定 (Mann-Whitney Test)

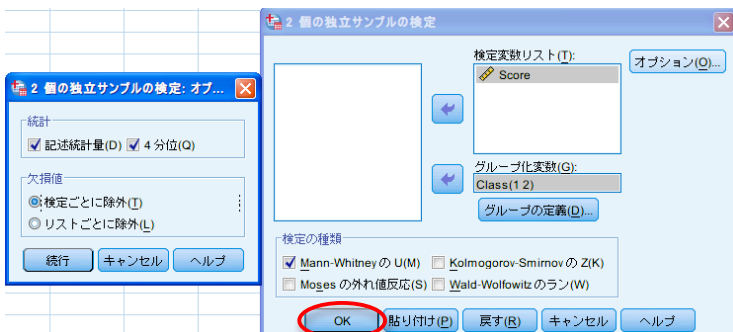


データを用意して「ノンパラメトリック検定」→「2 個の独立サンプルの検定」を選びます。  
(SPSS 18 以降は「過去のダイアログ」に格納されています)



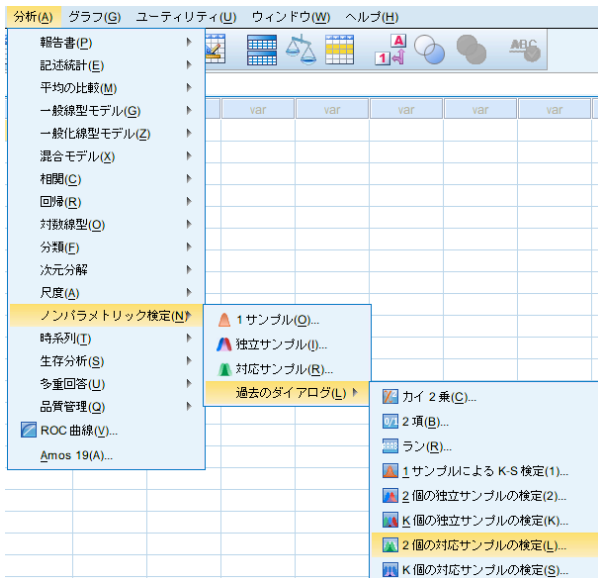
Score を検定変数リストに移動します。

Class をグループ化変数に移動し、「グループの定義」をクリック、比較したい2群（この場合、1と2）を指定します。

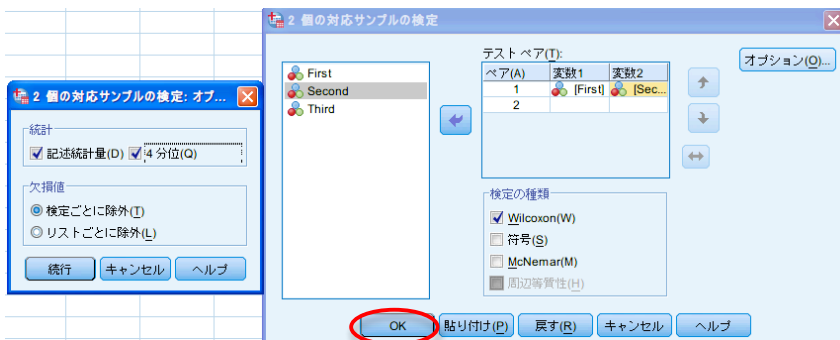


オプションで記述統計量のチェックをして、Mann-Whitney の U にチェックが入っていることを確認して、最後に「OK」をクリックします。

2) 対応のある2群の検定・・・ウィルコクソンの符号付順位和検定 (Wilcoxon Signed-rank Test)



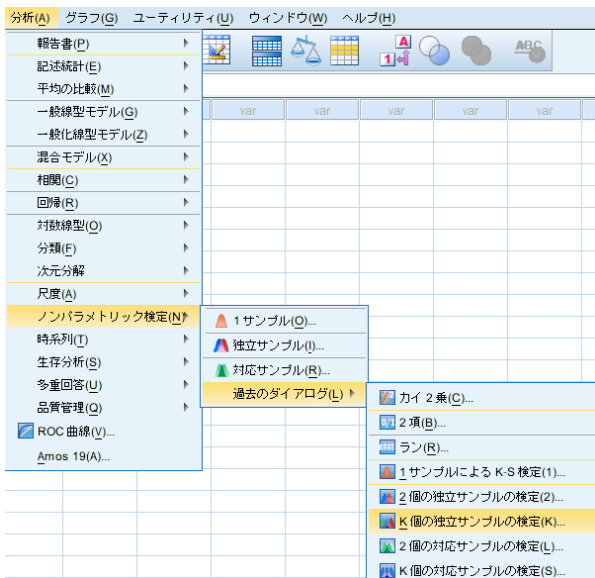
「2 個の対応サンプルの検定」  
を選びます。



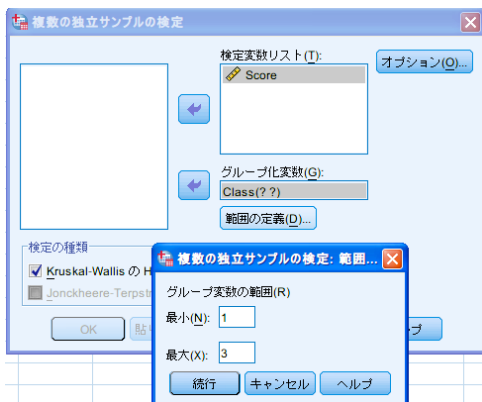
テストペアに比較したい 2 群  
を移動します。

オプションで記述統計量のチェックをして、Wilcoxon にチェックが入っている  
ことを確認して、最後に「OK」をクリックします。

### 3) 対応のない3群以上の検定・・・クラスカル・ウォリス検定 (Kruskal-Wallis Test)

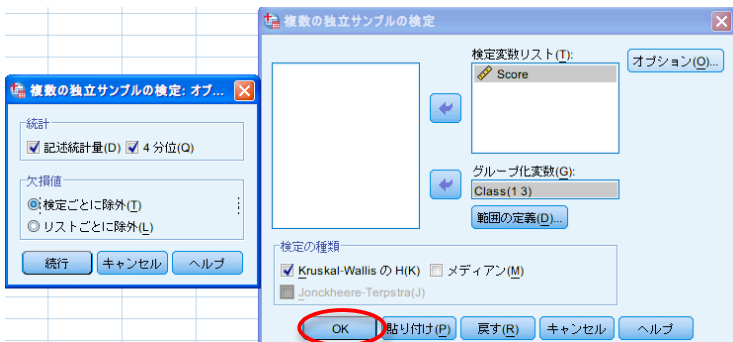


「K 個の独立サンプルの検定」  
を選びます。



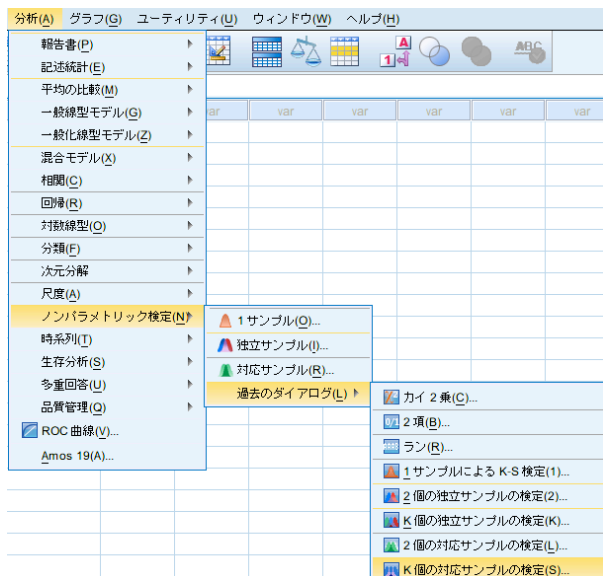
Score を検定変数リストに移動  
します。

Class をグループ化変数に移動  
し、「グループの定義」をクリ  
ック、グループの範囲（この場  
合、1～3）を指定します。

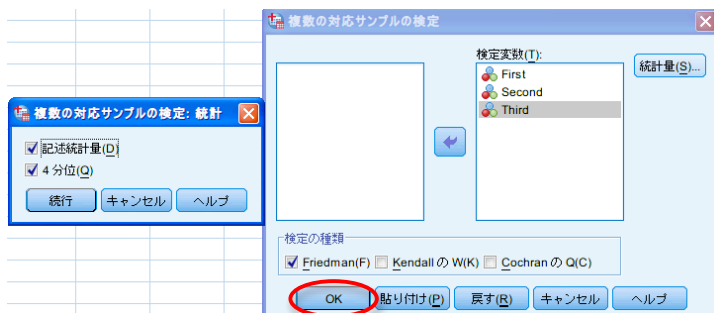


オプションで記述統計量のチェックをして、Kruskal-Wallis の Hにチェックが入  
っていることを確認して、最後に「OK」をクリックします。

#### 4) 対応のある 3 群以上の検定・・・フリードマン検定 (Friedman Test)



「K 個の対応サンプルの検定」  
を選びます。



検定変数に比較したい 3 群を  
移動します。

オプションで記述統計量のチェックをして、Friedman にチェックが入っている  
ことを確認して、最後に「OK」をクリックします。